

## 1, 概要

Society 5.0 は、サイバー空間とフィジカル空間を統合し、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を実現することを目指しています。IoT により、すべての人々と物がつながり、様々な知識や情報が共有され、新たな価値が生まれる社会を作り出します。また、少子高齢化や地方の過疎化などの課題をイノベーションによって克服することを目指し、AI により手間のかかる作業から解放され、ロボットや自動運転車などにより人間の可能性が広がる社会を目指しています。しかし、日本の科学技術力は低下しており、論文数や博士課程進学者数が減少しています。そのため、異なる原理、技術、応用分野、目標によるクローズド型のイノベーションから、持続性のある科学技術をオープン型のイノベーションに展開させる必要があります。このために、異なる分野のコミュニケーションプラットフォームや取り組みの提供が必要であり、研究者や技術者が他の分野に関心を持ち、知識を得て、異分野間の協力と能力拡大を促進することが重要となります。

## 2, 感想

今回の講義では、Society 5.0 について説明しており、IoT や AI、ロボット等による新たな価値の創造や社会課題の克服に期待が寄せられていることが分かります。しかし、日本の科学技術力が低下していることが指摘されており、クローズド型からオープン型のイノベーションに転換することが必要であることが示されています。また、異分野間のコミュニケーションの重要性についても言及されており、学术界に限らず、ビジネスや社会の分野においても、異なる分野の交流がもたらす価値について認識することができました。今後、僕はこの大学で基礎知識や教養を土台として研究を行い、日本の科学技術力の向上や Society 5.0 の実現に向け、異分野の協力やオープン型のイノベーションをすることができる人材になりたいと思いました。また、研究を通して課題発見・設定・解決能力を身に着けたいと思いました。